

# 競技注意事項

今後、新型コロナウイルス感染症の影響で、競技運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生した場合や発生する恐れがある場合は必要に応じて大会中止とする。中止となる場合は、当大会ページ等で告知する。

本大会参加者は日本陸上競技連盟が定めた「ガイダンス」に従い行動すること。大会主催者は、大会前や当日に発熱や体調不良が確認された場合、該当競技者の出場を認めない場合がある。

## 1 競技規則について

本大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項及び申し合わせ事項により実施する。

本大会要項により参加するパラ競技者についても競技規則の適応は同様とする。ただし障がいの特性により特別な配慮がされる場合は、2022 - 2023 World Para Athletics (WPA) 競技規則による。

## 2 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

- (1) 大会1週間前の体調管理を行い、体調チェックシートを提出する（競技者、監督・コーチ）。
- (2) 7/29（金）の前日練習を行う際は、競技者受付にて体調チェックシートを提示し、リストバンドを付けた上で陸上競技場（以下、メイン競技場）へ入場すること。  
※体調チェックシートは事務局確認後に返却
- (3) 7/30日（土）の大会当日は、競技者受付にて体調チェックシートを提出しアスリートビブス・ADカードを受け取ること。
- (4) 競技者受付及びT I C受付開始時間は、以下の通りとする。

7/29（金）：競技者受付	13:00～
T I C	設置なし
7/30（土）：競技者受付	11:30～
T I C	12:00～

## 3 番組編成・欠場届について

- (1) 当大会のトラック種目（男女100m、男子110mH、女子100mH）については、第1次レース・第2次レースを行う。  
第1次レース：予選タイムレース（申込資格記録によって、事前番組編成）  
第2次レース：決勝タイムレース（第1次レースに出場した競技者で、当日番組編成）  
※1. 男女100m：デフ競技者が参加の組は2レーンを専用レーンとする（第1・2次レース共通）  
※2. 第1次レースを欠場した競技者は、第2次レースの参加を認めない
- (2) 欠場届について  
本大会申込完了後に欠場する競技者は、本大会規定の「欠場届」を提出する（メールまたはT I C）。  
【欠場届の提出方法について】
  - ① 7/28（木）までに届ける場合はメールにて受け付ける。
  - ② 大会期間中については、T I C（7/30のみ）またはメールにて受け付ける。  
※指定のメールアドレス(iwakoshi@mx6.fctv.ne.jp)宛に「欠場届」を添付して提出する。  
※メールタイトルを、【欠場届\_チーム名称\_チーム連絡責任者氏名】とすること。
  - ③ 提出日時は、大会申込後から大会当日の各種目競技招集完了前までとする。  
※提出期限以降もケガ等で止むを得ず欠場する場合も、速やかに提出すること
- (3) 確定した第2次レースの番組編成は、各種目の第1次レース終了後に三重陸協（当大会ページにもリンクを添付）の速報コーナー（以下、速報サイト）に掲載する。

## 4 招集について ※招集時の「3密」を避けるため、現地で競技役員の指示に従うこと

- (1) 招集所は、メイン競技場第1ゲート（100mゴール）外側に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻と招集完了時刻は、競技日程を参照のこと。
- (3) 招集方法については、次の通りである。

①競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、競技役員から点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピンおよび靴底の厚さ・競技場内で着用するウェアや持ち込むバック類の商標の点検を受ける。また携帯電話等、競技規則 TR6.3.2 に関する機器を持ち込んでいないか確認を受ける。競技場内に持ち込めない物は、競技者係で預かり、T I Cにて返却する。

**※1. 点呼・点検等が済んだ競技者から速やかに競技場所へ移動すること（誘導・指示は競技役員）**

**※2. 通信機能付きの腕時計については着用できない（スマートウォッチ等）※持ち込みも不可**

- ②トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を1枚競技者係から受け取り右腰につける。
- ③アスリートビブスは、配布された大きさのままでユニフォームの胸部・背部につける。但し、走幅跳に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- ④2種目同時に出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が、T I Cに用意した「2種目同時出場届」に記入し第1種目の招集開始時刻までに招集所に提出する。
- ⑤代理人による最終点呼は認めない。招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。

## 5 競技について

- (1) デブ競技者のトラック種目のスタートにおいては「光刺激スタートシステム」を使用できる。使用詳細については、下記のとおりとする。
- ① 「オンユアマークス」・・・赤, 「セット」・・・黄, 「号砲」・・・白（点滅）とする。
- ② 競技者は、システムの使用・不使用を選択することができる。  
（不使用の場合は、システムをレーンナンバーの後方へ移動する。）
- ③ システムが正常に動作しなかった場合は、直ちにピストルを鳴らしレースを中断させる。  
その後、システムの故障、不具合により使用の継続ができない場合は、そのレースより使用を禁止し、従来通りの（目視）スタートへ変更する。ただし、システムが復旧した場合は再使用する。
- (2) 走幅跳の公式練習は原則2回とし、全て競技役員の指示に従う。
- (3) 走幅跳で使用するピットは、男子2ピット、女子1ピットとする（メインスタンド側）。
- (4) 走幅跳は、競技者すべてが6本の試技を行う。※6本すべて同じ試技順とする
- (5) トラック競技の競技場所は、当日の風向によってメインまたはバックを使用するか決定する。  
走幅跳のピット方向も同様とする。
- (6) 各ビデオ監視システムを併用する

## 6 コーチングエリアの設置について

- (1) 走幅跳については、コーチングエリアを設置する  
※「監督・コーチ」ADが必要となる
- (2) 競技中の競技者に対するアドバイスは、コーチングエリア内で行うこと。

## 7 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場は、第1ゲート（100mゴール）外側に設置する招集所から各競技場所へ移動する。  
競技が終了した競技者は、第1ゲート（フィニッシュ付近）より出て、招集所と競技場の間を通り、第4ゲートへ自身の荷物を取りに行き、第4ゲートから退場する。  
**【バックストレートを使用する場合】**  
ゴール後、トラックの外側を通り第2ゲートへ荷物を取りに行き、南サイドスタンドのトラックの外側を通り第1ゲートから退場する。
- (2) ドーピング検査対象者については、競技役員の指示に従う。

## 8 競技用靴・用器具について

- (1) シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）  
本大会は、WA規則第143条（TR5）のルールを適用する。  
※詳細は日本陸連HP参照  
<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
- (2) 走幅跳で助走路に使用するマーカーは、主催者が用意したものを2個まで使用することができる。

## 9 ドーピングコントロールテストについて

本競技会はWPA公認での開催であるため、ドーピングコントロール検査が実施される。

## 10 表彰について

- (1) 各種目の優勝者のみ表彰対象とする。  
トラック競技：第2次（決勝）レースのタイム最上位者  
走幅跳：第1位の競技者  
※競技終了後、競技者受付にて賞状を受取ること。

## 11 全日本実業団選手権予選会 【参照：大会要項】

**※各種目の該当競技者へ競技会後別途通知する**

## 12 その他

- (1) ADコントロールを実施するため、配布したADカードは常に携帯する。
- (2) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。
- (3) 更衣室の使用については、競技者受付にて申請し使用のこと。
- (4) 記録・第2次レースの番組編成はその都度発表（速報サイト）する。
- (5) スタンドの応援については、コーチ席などテープで制限した範囲以外の席とする。  
**※感染予防のため応援マナーを遵守すること**
- (6) 応援の際の応援グッズ（スティック、衣類、帽子等の手持ちのもの）、横断幕等（固定のもの）については、所属企業・チーム名および競技者名の掲載を認める。固定のものについてはメインスタンドは不可とし、コーナー（芝スタンド）とバックスタンド側の中央手すりより上段を可とする（競技場最前列は全面禁止）。ただし、競技運営などに支障がある場合は、撤去または移設を指示する場合がある。
- (7) 貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。
- (8) 遺失物類については競技者受付で管理する。
- (9) **撮影については、原則全面禁止とする。**  
**※但し、監督・コーチ（AD保有）がコーチングエリア内で所属選手を撮影する場合は可とする**
- (10) 応急処置を必要とする事故が発生したときは、救護室で処置を受けることができる。
- (11) 大会関係者が撮影した、写真・ビデオは主催者の一般社団法人日本実業団陸上競技連合に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用する場合がありますのでご了承ください。
- (12) 提出書類等については下記の通り行う。（各用紙はTICで配布する）

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	当競技注意事項の「3 番組編成・欠場届について」の「(2)欠場届について」参照	
2	2種目同時出場届	競技者係（招集所）	第1種目の招集開始時刻まで

- (13) 駐車場について  
競技場駐車場（西側）が満車の場合は、河川敷駐車場等（有料）をご利用ください。  
※競技場正面駐車場は、競技役員用のため利用不可
- (14) 競技者待機場所について  
競技者の待機場所は、メインスタンド・コンコースとする。

## 練習に関する注意事項

1 練習会場および使用時間は、下記の通りとする。

会場名	競技種目	7月29日(金)	7月30日(土)
メイン 競技場 9レーン	100m	13:00~17:00	12:00~13:45
	ハードル		
	走幅跳		×
第2 競技場 8レーン	100m	×	12:00~19:00
	ハードル		12:00~16:00
	走幅跳		
雨天走路	全種目 (W-UP 程度のみ)	13:00~17:00	12:00~18:00

2 競技場への入退場時には、必ずADカードを提示すること。

3 練習は、競技役員の手配のもと、事故防止に十分配慮して行うこと。

4 スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。

5 練習におけるレーンの使用については下記のとおりとする。

■メイン競技場：9レーン（芝生内でのW-UPおよびC-DOWN程度は可能）

・1~2レーン：W-UP

・3~7レーン：100m

・8、9レーン：100mH、110mH

※但し、競技開始前など人数によってはハードルを6、7レーンへ増設するする場合あり

■第2競技場：8レーン（芝生内でのW-UPおよびC-DOWN程度は可能）

・1~2レーン：W-UP

・3~6レーン：100m

・7、8レーン：100mH、110mH

※但し、競技開始前など人数によってはハードルを5、6レーンへ増設するする場合あり

6 雨天走路（メイン競技場バックスタンド下）のウォーミングアップについて

下図のとおりとする（横断禁止）

雨天練習場スタンド側	
← 高速専用	①
← 流し専用	②
← ジョグ専用	③
→ 戻り専用	④

柱

柱

柱

※ハードル・走幅跳練習は不可

オールウェザー一部分をベンチとして使用することや、チーム陣地等の場所取りは禁止